

平成30年度(2018年度)自由課題研究助成者

申請者	所属	研究課題
荒木久美子	秋山成長クリニック	ターナー症候群の脳・認知機能育成のための教育・訓練および環境要因と社会的支援の検討
井上毅信	国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部	シルバーラッセル症候群表現型における単一遺伝子変異の関与に関する研究
井下尚子	沖中記念成人病研究所 基礎研究チーム2	ソマトスタチンアナログ治療が成長ホルモン産生下垂体細胞に与える変化
加納 聖	山口大学共同獣医学部 獣医発生学研究室	アフリカチビネズミを用いたQTL解析による新規成長関連因子群の探索
久保田 聡	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔生化学分野	骨格成長における長鎖ノンコーディングRNA、UCA1の役割解明
笹川泰生	金沢大学医薬保健研究域医学系 脳・脊髄機能制御学	高齢者における先端巨大症の臨床的特徴と至適治療の検索
佐藤直子	たなか成長クリニック	思春期発来異常症における新規疾患責任遺伝子の分子遺伝学的解析
菅沼信彦	名古屋学芸大学看護学部	生殖補助医療に対するターナー症候群患者の意識調査
菅原 明	東北大学大学院医学系研究科 分子内分泌学分野	軟骨細胞分化におけるヒストン修飾酵素によるIGF- I 遺伝子のエピゲノム制御
関根悠太	帝京平成大学現代ライフ学部	成長期における成熟度変化に基づく運動プログラムの構築～内分泌応答の成熟度変化に着目して～
高木優樹	川崎市立川崎病院小児科	全ゲノムエクソーム解析によるSepto-optic dysplasia (SOD) の新規遺伝子変異同定
高畑佳史	大阪大学大学院歯学研究科 生化学教室	骨・軟骨成長に関わる新規転写因子群のin vivoマウスモデルを用いた解析
高谷具純	千葉大学大学院医学研究院 小児病態学	3M症候群の病態とIGF- I 反応性についての解析
辰巳公平	近畿大学医学部再生機能医学講座	筋・骨連関におけるエクソソームの生理的役割の解明
棚橋祐典	旭川医科大学小児科	北海道におけるビタミンD欠乏症の実態調査 hospital-based study
内部健太	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔形態学分野	レチノイン酸シグナルによる骨格形成制御メカニズムの解明と臨床応用へ向けた検討
布施養善	帝京大学医学部小児科 遺伝代謝研究室	栄養調査法によるヨウ素摂取量評価のための食品ヨウ素含有量データベースの構築
松山聡子	大阪府立病院機構 大阪母子医療センター泌尿器科	Prader-Willi症候群男性における性腺機能障害機構の解明と新規治療の開発
山澤一樹	国立病院機構東京医療センター 臨床遺伝センター/小児科	DOHaD説に立脚したSGA児の唾液DNAメチル化と生活習慣病の関連の解明
山田正信	群馬大学大学院医学系研究科 内分泌代謝内科学	甲状腺ホルモン不応症における成長障害の解析
山根淳文	愛媛県立新居浜病院	早朝空腹時亜鉛値の評価による亜鉛欠乏症と低身長症の関係についての研究

(以上21件、1件につき50万円を助成)

平成29年度(2017年度)自由課題研究助成者

申請者	所属	研究課題
荒木久美子	秋山成長クリニック	ターナー症候群の社会適応に必要な脳・認知機能育成のための教育・訓練および環境要因の検討
有安 大典	熊本大学生命資源研究・支援センター 疾患モデル分野	優性遺伝性GH1遺伝子異常症の発症機序に関するヒト化GHマウスを用いた研究
井口 元三	神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科	疾患特異的iPS細胞を用いた抗PIT-1抗体症候群の発症メカニズムに関する研究
大幡 泰久	大阪大学大学院医学系研究科小児科学	破骨細胞由来IGF-1の機能解析
小野 裕之	浜松医科大学小児科	不完全型アンドロゲン受容体異常症家系において同定されたAR遺伝子深部イントロンバリエーションの機能解析
鏡 雅代	国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部	特発性低身長におけるインプリンティング異常症の関与の検討
菅野 潤子	東北大学大学院医学系研究科 小児病態学分野	日本人骨形成不全症患者の遺伝的背景の解明とアレンドロネートおよび新規薬Sema3Aの有用性の検討
佐藤 直子	たなか成長クリニック	成長ホルモン分泌不全を伴わない低身長症における新規発症責任遺伝子の分子遺伝学的解析
高木 優樹	川崎市立川崎病院小児科	先天性下垂体機能低下症コホートにおけるSonic Hedgehog (SHH) シグナル関連遺伝子の包括的解析
高畑 佳史	大阪大学大学院歯学研究科生化学教室	骨・軟骨成長因子BMP2によるSox9上流転写因子の活性化機構の解明
田中 知明	千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学	アクロメガリーの革新的個別化医療を目指した下垂体腫瘍変異解析パネルの構築とGenotype-Phenotype統合解析
辻 岳人	岡山大学大学院環境生命科学研究科	Geleophysic dysplasia type1の新たなモデルマウスの確立
根本 崇宏	日本医科大学大学院医学研究科 生体統御科学	胎生期低栄養により生じるnon-catchup growthへのメチルドナー食による介入の可能性
伯野 史彦	東京大学大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻	インスリン受容体RNA選択的スプライシングの分子機構の解明：インスリン受容体の代謝調節・増殖誘導機構のスイッチング
長谷川 高誠	岡山大学病院小児科	軟骨無形成症、低形成症の新生児期から幼児期における骨成長動態についての放射線学的検討
布施 養善	帝京大学医学部	ヨウ素摂取過剰による甲状腺機能障害を正確に評価する方法の開発
二若 久美	武庫川女子大学薬学部 臨床病態解析学講座	成長ホルモン、インスリン様成長因子-1による脂肪細胞のベージュ化に関する分子生物学的基盤解明
道上 敏美	大阪母子医療センター研究所 環境影響部門	骨成長におけるⅢ型ナトリウム/リン酸共輸送担体の役割；CRISPR/Cas9 システムを用いた解析
森 琢磨	信州大学医学部分子細胞生理学教室	NMDA受容体機能低下自閉症モデルで観察されるシナプスバランス異常の発症時期同定とその治療
山澤 一樹	東京医療センター 臨床遺伝センター/小児科	SGA児における頬粘膜DNAメチル化と生活習慣病の関連の解明およびバイオマーカーの開発
吉本 勝彦	徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野	頭蓋咽頭腫における遺伝子発現異常解析

(以上21件、1件につき50万円を助成)

平成28年度(2016年度)自由課題研究助成者

申請者	所属	研究課題
天野 直子	東京都済生会中央病院小児科	非典型的な(低身長を呈さない) Acromesomelic Dysplasia症例に同定されたNPR2遺伝子変異の機能解析
荒木久美子	秋山成長クリニック	ターナー症候群の世代別の脳・認知機能の発達・成熟と社会適応に必要な資質および環境づくりに必要な要素の検討
有安 大典	熊本大学生命資源研究支援センター 疾患モデル分野	優性遺伝性GH1遺伝子異常症の発症機序に関するヒト化GHマウスを用いた研究
磯島 豪	帝京大学医学部小児科	軟骨の増殖・分化におけるFAM111Aの役割の解明
大高幸之助	浜松医科大学小児科	FGFR1遺伝子転写活性化領域の同定
小澤 厚志	群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学	癌抑制蛋白meninの機能不全による下垂体腺腫発症機能の解明
菊池 透	埼玉医科大学病院小児科	肥満小児の骨年齢促進と思春期の身長スパートの短縮に関する研究
岸本真希子	岡山大学病院精神科神経科	自閉症児に対する新しい療育法RDI (Relationship Developmental Intervention)の効果検証
斎藤祐見子	広島大学大学院総合科学研究科・ 生命科学領域	環境センサーを介した成長ホルモン/インスリン分泌の新規抑制機序
佐藤 直子	たなか成長クリニック	CHARGE症候群における臨床スペクトラムの評価と疾患成立機序の解明
高木 優樹	東京都立小児総合医療センター 内分泌代謝科	低ゴナドトロピン性性腺機能低下症の新規候補遺伝子FUZのコホート解析
高畑 佳史	大阪大学大学院歯学研究科生化学教室	遺伝子座特異的クロマチン免疫沈降法を用いた軟骨成長に関わる新規転写因子の機能解析
棚橋 祐典	旭川医科大学小児科	先天性下垂体機能低下症の新たな発症機構の解明:PIT-1 β 変異の機能解析
辻 岳人	岡山大学大学院環境生命科学研究科	低身長症モデルであるSTBマウスの原因遺伝子の同定と成長ホルモン制御への関与について
西垣 五月	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学	臍帯血アミノ酸分析を用いたSmall for Gestational Age(SGA)の病態と成因の解明
伯野 史彦	東京大学大学院農学生命科学研究科応用動物科学専攻・動物細胞制御学研究室	成長ホルモンによるインスリン抵抗性発生の新規分子機構の解明とその解除法の開発
樋口 洋介	岡山大学病院小児科	小児期症候性ラトケ嚢胞の内分泌合併症に関する多施設共同臨床研究
福井由宇子	国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部	日本人集団における特発性低身長症の網羅的責任遺伝子変異解析
布施 養善	帝京大学医学部小児科遺伝代謝研究室	生体試料、食品中のヨウ素含有量測定法の確立についての研究
山澤 一樹	東京医療センター 臨床遺伝センター/小児科	ヒドロキシメチル化に着目したインプリンティング異常症の病態解明と新規治療薬の開発
吉本 勝彦	徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子薬理学分野	頭蓋咽頭腫の各タイプにおける遺伝子異常

(以上21件、1件につき50万円を助成。)